

ウィンターリース&クリスマスリースづくり

■リース

リースには「花輪」「花冠」「冠」「輪状」という意味があります。
 輪には「永遠」「新年の幸福を祈る飾り」「始めもなく終わりもない永遠に続く神の愛」を表しています。
 その他にも「魔除け」「豊作祈願」「新年の幸福」などの意味合いも含まれています。
 日本で言えばお正月飾りのようなものなので、クリスマスが終わったあとにお正月用に作り変えて年を越すのもいいかもしれません。
 12月が来ると飾りたくなるリースでもありますが、リース作りにはアレンジメントの基礎がたくさん詰まっています。

「もうすぐ Christmas がやってくる！」

素材の紹介

木の実各種、資材など

■リースづくり

12月が近づくにつれて飾りたくなるリース。

木の実やドライフラワーなどで彩られたリースには、冬の雰囲気がたっぷりとしらわれこれからの季節にぴったりです。リースづくりにはアレンジメントの基礎がたくさん詰まっています。実の「色」「形」「大きさ」「質感」「香り」など、自然物の様々な要素をデザインしなければなりません。それぞれの特性を活かし、立体的にアレンジしていくことが、美しく仕上げるコツでもあります。

■道具&資材

- ハサミ
- ワイヤー (#26)
- リース土台

■クリスマスオーナメント各種

- リボン
- サンタ
- ベル
- ユニボール

■木の实、ドライフルーツ各種

- 松かさ
- ワタの实
- 野グルミ
- パクリ
- スターアニス
- ヤシヤブ
- コメツガ
- ひのきの実
- グイの実
- アヨウのカラ
- ハクア
- スターコーンヘッド
- アップル

①まずは完成デザインを考えよう

木の実を置いて、完成をイメージする

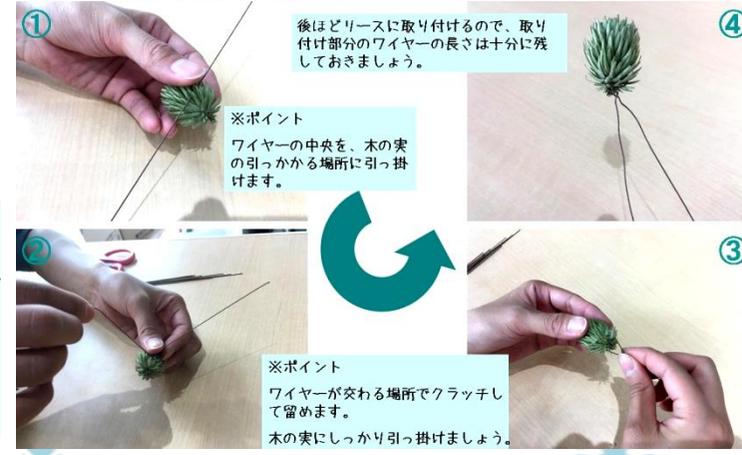


※ポイント
 後ほど取り付ける際、イメージを忘れないように、写真またはデッサンしておく、後々スムーズにできます。

※ポイント
 ①リース土台を表面だけでとらえずに「正面」「外側」「内側」の3面ですらえ、立体的にデザインしてみてください。
 ②リースづくりにおいて、バランスがとても大切です。木の実の「大きさ」「形」「色」をよく見て配置、配列をデザインしてみてください。

②木の実にワイヤーをつけます

①~④の手順でワイヤーを取り付けます



① 後ほどリースに取り付けるので、取り付け部分のワイヤーの長さは十分に残しておきましょう。

※ポイント
 ワイヤーの中央を、木の実の引っかかる場所に引っ掛けます。

② ③ ④

※ポイント
 ワイヤーが交わる場所でラッチして留めます。木の実にしっかり引っ掛けましょう。

③木の实すべてにワイヤー処理

準備が整ったらリースに木の实を取り付けよう



④大きい実から入れるとやりやすい

大きい実から入れることで、バランスをとりやすくなります



※ポイント
 ワイヤーは木の实を入れる場所が確定したらカットしましょう。先にワイヤーをカットすると、後で場所を変えたい場合変更できなくなります。

ウィンターリースの完成です！

⑤クリスマスバージョン

12月頃からはクリスマスオーナメントを取り付けよう



■楽しみ方

11月は室内に飾って楽しんでいただき、12月頃からクリスマスバージョンにしてドアに飾っていただければ、クリスマスドア飾りに早変わりできます！
 その後さらに、お正月オーナメントなどを取り付けて、年を越してもGOODです！（クリスマス終了後）

complete